

実業団日本一を決める『第38回テニス日本リーグ』 女子が2年ぶり4度目の優勝を飾る 3チームで臨み、橋本総業ホールディングス男子と橋本総業女子が3位

2024年2月16日(金)～18日(日)、東京体育館にて『第38回テニス日本リーグ』が開催され、橋本総業ホールディングス女子が、2年ぶり4度目の優勝を飾りました。

女子を2チーム体制にした今年は、橋本総業としてもう1チームエントリーし、男子の橋本総業ホールディングスとともに3位となりました。



12月の1stステージ、1月の2ndステージにて行われたリーグ戦にて、好成績を収めた男子8、女子6チームが進出できる決勝トーナメント。橋本総業ホールディングス女子は、決勝で実に8度目となる島津製作所の対戦となりました。

シングルス2の岡村恭香は、善戦するもファイナルセットのタイブレーク 13-15 で敗れ、1勝を相手に先行されます。しかし、シングルス1の坂詰姫野が、昨年と同カードとなったエース対決、本玉真唯との対戦に 6-3 6-2 のストレートで勝利し、リベンジを果たします。

1勝1敗となったダブルスでは、小堀桃子／森崎可南子ペアが、第1セットを1-6で落としたものの、第2セットを6-4で奪い、ファイナルセットの10ポイントタイブレークへ。ここでも相手にリードを許しますが、場内の応援を力に怒涛の反撃で逆転し、見事に優勝を収めました。

決勝トーナメントでは3-0で勝利することができず、苦戦を強いられることもありましたが、試合を重ねるごとに、選手たちはやるべきことを明確化していき、決勝にてその集大成を見せました。

なお、坂詰選手は今大会の活躍が評価され、最高殊勲賞に選ばれています。

男子は、新加入選手が軸となる体制で臨む中、準決勝で同大会優勝の三菱電機に敗れましたが、3位決定戦ではマイシンに勝利し、3位となりました。



また、橋本総業女子は、昨年まで主にダブルスに出場していた瀬間瑛里花がシングルのエースとして気を吐き、予選リーグで大活躍、決勝トーナメントでは、準優勝の島津製作所に敗れましたが、3位決定戦でリコーに勝利しています。



3チームでのエントリーにより、各チームの一体感が増し、相乗効果として、全体の士気も高まっています。再び来年度のアベック優勝を目指し、努力してまいります。

■橋本総業ホールディングス女子結果

2月16日(金)準々決勝

橋本総業ホールディングス 2-1 ノアインドアステージ

S1 ●坂詰姫野 4-6 6-2 [8-10] ○松田鈴子

S2 ○岡村恭香 6-0 6-1 ●中塚桃子

D ○小堀桃子／森崎可南子 6-2 6-1 ●上田らむ／塩谷夏美

2月17日(土)準決勝

橋本総業ホールディングス 2-1 リコー

S1 ○坂詰姫野 6-2 6-2 ●板谷里音

S2 ○岡村恭香 6-0 6-2 ●金井綾香

D ●小堀桃子／森崎可南子 6-2 3-6 [4-10] ○高橋玲奈／谷井涼香

2月18日(日)決勝

橋本総業ホールディングス 2-1 島津製作所

S1 ○坂詰姫野 6-3 6-2 ●本玉真唯

S2 ●岡村恭香 2-6 6-1[13-15] ○加治遥

D ○小堀桃子／森崎可南子 1-6 6-4 [10-8] ●桑田寛子／永田杏里

■橋本総業女子結果

2月17日(土)準決勝

橋本総業 0-3 島津製作所

- S1 ●瀬間詠里花 6-3 3-6 [9-11] ○本玉真唯
S2 ●松田美咲 3-6 0-6 ○加治遥
D ●大前綾希子／小林ほの香 2-6 5-7 ○桑田寛子／永田杏里

2月18日(日)3位決定戦

橋本総業 3-0 リコー

- S1 ○瀬間詠里花 6-2 6-3 ●板谷里音
S2 ○小林ほの香 6-1 6-2 ●金井綾香
D ○大前綾希子／奥脇莉音 7-6(3) 6-4 ●高橋玲奈／谷井涼香

■橋本総業ホールディングス男子結果

2月16日(金)準々決勝

橋本総業ホールディングス 2-1 エキスパートパワーシズオカ

- S1 ○リー・ツ 6-1 7-6(6) ●デニス・クドラ
S2 ●福田創楽 7-6(6) 4-6 [9-11] ○望月勇希
D ○河内一真／渡邊聖太 6-4 6-4 ●住澤大輔／野口政勝

2月18日(土)準決勝

橋本総業ホールディングス 0-3 三菱電機

- S1 ●リー・ツ 7-6(5) 3-6 [8-10] ○清水悠太
S2 ●福田創楽 5-7 6-7(5) ○高橋悠介
D ●河内一真／渡邊聖太 6-7(2) 2-6 ○田中優之介／丹下将太

2月19日(日)3位決定戦

橋本総業ホールディングス 2-1 マイシン

- S1 ○リー・ツ 6-1 6-2 ●許育修
S2 ○福田創楽 6-2 6-1 ●高橋勇人
D ●河内一真／吉村大生 4-6 6-3 [7-10] ○川橋勇太／末岡大和